

平成29年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 准教授

氏名： 田 昌禾

研究課題		韓国文化経験と対外イメージの変容
報告の概要	研究目的及び研究概要	1980年代から日韓両国のイメージは、韓国の観光政策(とくに、1983年の海外旅行の自由化実施、1989年の海外旅行の完全自由化実施)によって大きく変わり始め、2003年度から韓流のドラマ、K-POPなど韓国文化経験によって日韓両国間の相互イメージに大きな影響を与える重要なきっかけとなり、とくに、韓国語、ハングル文化に対する需要や期待も高まっているのが現状である。 このような状況を踏まえて、21世紀のグローバル社会における韓国語、ハングル文化のグローバル化は、国際社会の中でもっと多くの人々にハングル文化の価値を認識させ、韓国語を知らせると同時に韓国語の使用拡散をしようとする意味から始まり、韓国語、ハングル文化教育に対する課題は何かを把握し、その問題点の解決方案などを模索する。
	研究成果	今年度の個人研究費の研究成果について述べると、韓国の在外同胞財団2017支援事業である在外同胞民族教育(韓国語等) 方案セミナーで3日間講演を行ったことである。 1日目はグローバル社会における民族教育の必要性、 2日目はハングル文化のグローバル化、 3日目はグループワークで学ぶ韓国語をテーマとして講演を行った。 反省点として、今年度の個人研究費の研究内容は韓国文化(韓国衣装、遊びなど)に直接触れ合うことで対外イメージを変容するといった研究をしようと試みたが、アンケート調査ができず、韓国語、ハングル文化教育に焦点を当てて研究することになった。
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	なし
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	①学会発表：「日本の少子高齢化と若者の海外旅行離れ現象に関する考察(1996年～2016年を中心に)」、2017年秋季連合国際学術大会、2017年10月28日、韓国東亜大学 ②学会における討論者：「日本政治家の嫌韓発言に対する実態把握」、2017年秋季連合国際学術大会、2017年10月28日、韓国東亜大学
	・その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等	*講演会(2017年12月8日(金)～12月10日(日)) 韓国の在外同胞財団2017支援事業 在外同胞民族教育(韓国語等) 方案セミナー 1日目はグローバル社会における民族教育の必要性 2日目はハングル文化のグローバル化 3日目はグループワークで学ぶ韓国語 *社会貢献活動等 韓国コンテンツ振興院 日本ビジネスセンター 諮問委員 2017/06/01-現在